

令和6年度使用
小学校用教科用図書研究報告書

河北採択地区協議会

目 次

1	国語	1
2	書写	3
3	社会	5
4	地図	7
5	算数	8
6	理科	11
7	生活	14
8	音楽	17
9	図画工作	18
10	家庭	19
11	保健	20
12	英語	23
13	道徳	26

研究報告書に記載されている発行者の順序は、文部科学省の「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に記載されている番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名
2	東 書	東京書籍株式会社
4	大日本	大日本図書株式会社
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社
11	学 図	学校図書株式会社
15	三省堂	株式会社三省堂
17	教 出	教育出版株式会社
27	教 芸	株式会社教育芸術社
38	光 村	光村図書出版株式会社
46	帝 国	株式会社帝国書院
50	大修館	株式会社大修館書店
61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
116	日 文	日本文教出版株式会社
207	文教社	株式会社文教社
208	光 文	株式会社光文書院
224	学 研	株式会社 Gakken

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	国 語（国 語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で身につける資質・能力を「言葉の力」として明示し、「見通す」「取り組む」「振り返る」という3つのステップを通して、「言葉の力」の獲得を目指す構成となっている。「取り組む」には、どのような言語活動を通して「言葉の力」を身につけるのか、単元の目標が具体的に示されている。児童が身につけたい資質・能力への自覚を高めながら学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「話すこと・聞くこと」のモデル動画や「読むこと」の資料動画などは、二次元コードを読み取ると見ることができ、単元導入の課題発見・意欲付けなどに活用できる。 ・2年以上に年間3か所「情報のとびら」が設けられている。児童が親しみやすい構成で、情報の扱い方に関する事項が定着するよう考慮されている。また、「読むこと（説明文）」での学びを「書くこと」の学習に効果的に結び付け、情報活用能力を高められるような単元配列となっている。 ・巻末の既習漢字一覧は、音読みと訓読みが別々に記載されているため、1つの漢字の読み方を一括で捉えにくい。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	17	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「学習のてびき」には、学習のめあてや4つのステップで学習の流れがすっきりと示され、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「言葉」のコーナーでは、本文の表現を取り上げてあるので、読みを深める発問とあわせて「言葉」の活動に取り組むことができるように配慮されている。 ・巻末付録「新しく学んだ漢字」の鉛筆書きがあたたかく、美しく書く意欲になる。 ・「言葉の広場」「言葉の文化」では、伝統的な言葉のよさに加え、顔文字・絵文字など現代的な言葉の活用も適切に扱われている。 ・全学年上下巻の2分冊になっている。既習の確認や付録の活用が多くなる高学年には向かない。 ・情報の扱い方に関する学習が位置づけられているが、情報を活用する上で、なぜ大切なのかという理由づけがやや弱い。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

国 語

種目（教科）	国 語（国 語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	38	発行者の略称	光 村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年以上の巻頭の「国語の学びを見わたそう」には、学級のみinnで考え、学びを深めていくための学習の進め方が示されている。各単元の「学習」コーナーも同じサイクルで構成されていて児童が学び方を身に付けられるように考慮されている。 ・ 2年以上の各単元の「学習」コーナーでは、作品との出会いを通して児童から「問い」を引き出すことで考えたくなるような仕掛けとなっている。課題意識をもち、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・ 二次元コードとともに、「動画」「音声」「資料」などのコンテンツ内容が示されている。また、「書くこと」単元で掲載している作例の全文や書くための統計資料なども選んで見ることができ、指導者が必要に応じて活用できるように配慮されている。 ・ 多様な児童のために、文字のフォントや文字の色などを工夫するなどユニバーサルデザインになるよう配慮されている。光村独自の書体に読みやすさへの配慮が感じられる。 ・ 2年以上に年間2か所、情報の扱いに関する学習が設定されているが、重要なポイントをまとめた「情報」コーナーの表現が堅苦しく、分かりづらい。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	書 写（国 語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「書写のかぎ」には、正しく整った文字を書くために必要な知識や技能を身に付けることができるよう、大切なポイントが示されており、分かりやすい。 ・「生活に広げよう」や「文字といっしょに」では、他教科との関連を図るとともに、日常生活での生かし方が例示されており、身に付けた力の活用が図られている。 ・3年生以上の毛筆の学習では、硬筆から課題を発見し、毛筆で確認した後、最後に再び硬筆で定着を図るという単元構成にすることで、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。 ・3年生以上には、点画の名前を書くページがあり、学びの振り返りができるよう配慮されている。 ・「生活に広げよう」や「文字といっしょに」で提示されている例が小さいものがあり、文字の大きさや配列の工夫の良さが伝わりにくい。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の筆使いの定着に向けて、穂先の向きを表すイラストや穂先の通り道を示す擬音語・擬態語を用いることで、点画の書き方や筆圧について理解しやすいように配慮されている。また、墨汁の量の調節方法なども丁寧に記載されており、毛筆の基本を身に付けるよう工夫されている。 ・「考えよう」では、キャラクターが吹き出しで問いを投げかけることで、単元のねらいを達成するための着眼点を示し、思考を深められるように配慮されている。 ・授業の始めに「ためし書き」、授業の終わりに「まとめ書き」の書き込み欄があり、それらを比べて振り返ることで、児童が自らの成長に気付くことができるように配慮されている。 ・「知りたい文字の世界」では、字源や身の回りの文字、筆の作り方等を取り上げ、文字への興味・関心を高められるように配慮されている。また、生活場面の中の手書き文化のよさに気付けるように考慮されている。 ・1ページに大切なことが盛り込まれ、情報量が多いため、大切なことがややぼやける。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

書 写

種目（教科）	書 写（国 語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	38	発行者の略称	光 村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で猫のキャラクターが登場し統一感がある。「止め」は「ぴたっ」、「払い」は「すうっ」などと児童に分かりやすい言葉とキャラクターの動きで筆使いのポイントが示されていてしている。また、筆使いにこだわった「たいせつ」のポイントが簡潔で分かりやすく書かれている。 ・3年の巻頭に「毛筆スタートブック」が掲載されており、毛筆学習の目的や用具の扱い方、学習の進め方が写真で示されている。また、3年生以上の各教材に「学習の進め方」が示され、写真でも解説してあるため、何をどう学ぶのかをイメージできるように配慮されている。 ・国語教科書と連動した教材が全学年で設定されており、学習活動に必然性が生まれるよう配慮されている。また、他教科と関連させたページが掲載されている。 ・二次元コード総コンテンツ数363点。様々な動画でポイント解説を見ることができるようになっている。筆使いの解説動画は、上からと斜めからの映像で筆使いの確認ができるよう配慮されている。 ・SDGsを意識した教材が全学年で取り上げられている。4年では、「SDGsブック」が掲載されており、書写の学習に関わるSDGsの取組が紹介されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会（社会）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとに「つかむ→調べる→まとめる→いかす」が位置付けられ、自主的・自発的学習を促しており、児童はもちろん、指導者にとっても進めやすい。 ・ 社会的な見方・考え方をイラストの種類を変えて、適所に提示することで、児童の深い学びにつなげることができるようになっている。 ・ 「まなび方コーナー」では、様々な調べ方やまとめ方が系統的に示されている。 ・ 各小単元に配置された「まなびのポイント」では、学習段階に応じた活動を例示し、「主体的・対話的で深い学び」を意識した問題解決学習が行えるように配慮されている。 ・ 3年では、導入単元「学校のまわり」を充実させることで、生活科からの学習のつながりや自分たちの地域の様子と結び付けて学習を進めやすくしている。 ・ 石川県の題材が取り上げられており、身近な地域の様子から学習内容を捉えることができる。 （4年「わたしたちの県」：北陸新幹線、4年「水はどこから」：金沢市・石川県 5年「これからの工業生産」：輪島塗、6年「江戸幕府と政治の安定」：加賀藩参勤交代図） ・ すべての単元において二次元コードが配置され、様々な動画や資料、ワークシートが提示され、学習に活用しやすいようになっている。 ・ 5、6年生では上下分冊となっており、持ち運びへの負担軽減の配慮がなされている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
	発行者の番号	17	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会科で使う見方・考え方」の働かせ方が、巻頭や各ページに明示されている。学習内容に即してどのように働かせるとよいかキャラクターの吹き出しで具体的に示されており、児童が取り入れやすい。 ・ 絵画資料、太い棒グラフ、白黒写真のカラー化といった資料の見やすさ、児童の身近な話題から社会生活へと広げていく内容の分かりやすさで、児童が思考しやすい。 ・ 学習のゴール「まとめる」では、答えが全て書き込まれており、児童の自由な思考が表出しにくい。また、「つなげる」の表現方法が数少なく（「考えを書き表そう」が多い）、児童の学習意欲を高め、単元を通して追究する意欲を持ち続けにくい。他教科と関連させにくい。 ・ 石川県の題材が取り上げられており、身近な地域の様子から学習内容を捉えることができる。 （6年「幕府の政治と人々の暮らし」：加賀藩参勤交代の様子） ・ 5・6年の教科書が分冊でないため、使いにくい。運びにくさや収納しにくさもある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

社 会

種目（教科）	社会（社会）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	116	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を役割ごとに色で分けながら表記することで、児童にとって読解しやすくなるように配慮されている。 ・随所にSDGsに関する内容があり、児童にとって関心を高める工夫がされている。 ・「キーワード」では、社会科が習得すべき用語を解説とともに提示し、基礎的・基本的な知識を習得できるように配慮されている。 ・石川県の題材が取り上げられており、身近な地域の様子から学習内容を捉えることができる。輪島塗を伝統工芸の一つとして取り上げている。石川県の児童にとっても伝統と文化に対する関心や理解を深め、それらを尊重し、継承、発展させる態度を育成できるよう配慮されている。 ・政治に関する内容と、歴史に対する内容が一冊にまとまっている。児童にとって最初の印象が重く捉えられてしまうように思われる。また、レイアウトも文字の印象が強く、抵抗感を抱く児童もいるように思われる。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	地図（社会）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 資料地図や資料がカラーユニバーサルデザインでくっきりと見やすく、読み取りやすい。 年表と共に、歴史上の日本と世界との関わりを分かりやすく示した資料地図が多く掲載され、歴史学習で活用しやすい。 地図の約束や使い方の学習において、1ページに盛り込まれた情報が多く、児童が理解しにくい。4年生で、日本地図に関心がもてるよう、情報量を最小限にした「広く見渡す地図」があるとよい。 地図において、土地の高低や土地の使われ方を表す色ははっきりしておらず、分かりにくい。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	46	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、地図帳の使い方を丁寧に表記されているので、児童にとって地図帳に慣れやすいものとなっている。 教師が児童にとって発見してほしい都道府県名や市町村名などが大きく書かれているので、児童にとって探しやすいレイアウトとなっている。 「地図マスターへの道」では地図を活用して解く問題が載っており、児童にとって興味・関心の高まる内容となっている。 自然災害や防災への取組を例示したりするなど、社会科の様々な学習内容とリンクしてとても使いやすい地図帳となっている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

算 数

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	算数（算数）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書	
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年に、「おぼえているかな？」が適宜設けられており、基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるように配慮されている。 ・まとめの後の補助発問「それなら」が設けられており、既習を発展させ、新たな課題を見出して、解決しようとする態度や力を育むことができるように配慮されている。 ・2年以上では、学習したことを日常生活に活用する「いかしてみよう」が適宜設けられており、学ぶことの楽しさや意義を実感できるように配慮されている。 ・巻末の「おもしろもんだいにチャレンジ」で、学びを日常の世界・数学の世界で活かす力が高められるように配慮されている。 ・1年の「はじめよう！ さんすう」では、A4判で書き込み欄が設けられており、ノートづくりの素地を養うことができるように配慮されている。また、ブロック操作等の活動がしやすいつくりになっている。 ・裏表紙にある「表紙の作品 作者のことば」では、子どもに幅広く算数・数学を楽しむ興味づけとなる内容になっている。 ・全ての児童の色覚特性に配慮されたデザインや色遣いになっている。 ・二次元コードを読み取ることで、一人一人が手元で数学的活動に取り組んだり適用問題に進んだりできるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>			
	発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
	特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2年以上の巻頭に「算数の大切な考え方」が設けられており、児童に意識させたい数学的な見方・考え方が示されている。 ・1年生から「プログラミングにちょうせん！」のコーナーがあり、2年以上ではアンプラグドプログラミングとビジュアルプログラミングの両方が設けられており、系統的にプログラミング的思考を育むことができるように配慮されている。 ・単元末の「たしかめ問題」が見開き2ページに配置されており、圧迫感がない。 ・「じっくり深く学び合おう！」では、多様な解決方法を比較して、話し合う活動が示されており、学びを深めることができるよう配慮されている。 ・「読み取る力をのばそう」では、たくさんの情報の中から必要な情報を読み取り活用して問題を解決する力を育むことができるように配慮している。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	算数（算数）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方・考え方が「考え方モンスター」として本文中に適宜示されており、数学的な見方・考え方を働かせることができるように配慮されている。 ・「問題」「めあて」「まとめ」でUDフォントを使用したり文節改行をすることで、読む段階でつまづかないような配慮がされている。 ・「算数パトロール隊」では、苦手なところや間違いやすいところを見直すことができるように配慮されている。 ・「？をかいつ！」「つなげたいな」では、単元で学んだことをまとめ、発展的な学習へとつながるように配慮している。 ・「算数をつかって」では、SDGsに関連した題材を扱い、社会のため、世界のためにどんなことができるかを考えるきっかけになるように配慮している。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「算数で使いたい見方・考え方」として「〇年生まで使ってきた算数のミカタ」「いつも大切にしたい算数の考え方」がまとめられている。 ・単元の後半には、「つながるミカタ」が適宜示されており、単元の前半で見出した数学的な見方・考え方を働かせて、学びを深めることができるように配慮されている。 ・「算数ひろば」「もっとやってみよう」のコーナーが適宜あり、算数への興味関心が高まるように配慮されている。 ・全ての児童の色覚特性に配慮されたデザインや色遣いになっている。 ・2年以上の巻末にある「学びの手引き」では、ものさしの使い方や分度器の使い方等の手順が示されており、児童が必要に応じて確認できるように配慮されている。 ・4年以上の巻末の「広がる算数」では、学んだことが日常生活とどのようにつながっているかが示されており、算数への興味・関心が高まるように配慮されている。 ・表紙・裏表紙のアニメーションが数学的な見方・考え方を広げることにつながる。 ・「学んだことを使おう」では、活用力を養う問題や日常生活と結びついた問題が配置されており、学んだことを生かすことができるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

算 数

種目（教科）	算数（算数）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の「すたあとぶっく」は絵の上にブロックを置いたり、線や数字を書き込んだりする際の活動をスムーズに行うことができるように、平らに開くことができるつくりになっている。 ・二次元コードが端末で読み取りやすい大きさに掲載されている。 ・「解説動画」は、個の実態に応じた学習を進められるように配慮されている。 ・キャラクター達が課題解決に向けて話し合っている場面では、特に意識してほしい数学的な見方・考え方の部分にマーカーが付されており、思考を深める際の手がかりとなるように配慮されている。 ・各単元末の「学びのまとめ」では、「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」が見開き2ページに設けられており、主体的に学習内容を振り返り、単元での学びを深めることができるように配慮されている。 ・巻頭で、「算数の学習の進め方」として既習の数学的な見方・考え方をまとめており、必要な時に確認できるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
	発行者の番号	116	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・5、6年の教科書には、しおりがついていたり、巻末の「さくいん」に英語が併記されていたりする。 ・「算数マイトライ」では、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」と分けて問題が記載されており、一人一人の学習状況に応じて、主体的に学習を進められるよう配慮されている。 ・2年以上では、巻末の「学び方ガイド」が切り離して使えるようになっており、学習の進め方や算数で使いたい数学的な見方・考え方をいつでも確認できるように配慮されている。 ・単元末の「わかっているかな」では、「まちがえやすい問題」が適宜取り上げられており、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるように配慮されている。 ・めあての近くに、見通しを立てたり、筋道を立てて考えたりするための着眼点が「見方・考え方」として配置されており、数学的な見方・考え方を働かせることができるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	理科（理科）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 表紙とつながりのある巻頭で児童の学習意欲を高める配慮がされている。また、1年間の学習内容が4領域で示され、巻末の「ふりかえろう」では領域ごとに見返す配慮がされている。 単元を通して、「問題をつかむ」→「調べる」→「まとめる」→「広げる」→「ふり返る」という課題解決学習の流れがあり、学習活動が大きく分かりやすく表示されている。特に「広げる」では、学んだことから自分の考えや深めるための配慮がされている。 実験・観察の際に使う観察カードやワークシート、ノートなどへの記入例があることで、どのように記録したらよいか分からない児童に対する配慮がされている。 デジタルコンテンツが非常に充実しており、単元の学習の中で適切な場面で使えるよう工夫されている。コンテンツの一覧表、白黒反転ボタンがあり、単元毎の理科ノートのダウンロードやデジタルワークシートで考えを書いたり、グラフを作成したりすることができる。また、「資料」では、各種動画や省庁のウェブサイトを気軽に見ることができる。さらに、「話し合いの例」や「デジ活」を用いると、問題の見出しと計画をデジタル画面上で行うことができるように配慮されている。 サイズがA4判で大きいため、図や写真等が見やすく迫力を感じることができる配慮がされている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入では、見開きを使って大きな写真が提示されており、児童が大きさや変化に気づき、問題意識を高めることができるような配慮がされている。 実験や観察において身近な材料を使う工夫がされており、自分で実験器具を作ることができるコーナーも設けてある。また、別の方法の実験も掲載されており、児童の多様な考え方で実験や観察ができるように配慮されている。 デジタルコンテンツは、各種動画がサムネイル表示されており、内容が一目で把握しやすく、他学年の内容も使うことができ、デジタルの記録カードもある。しかし、他サイトへのリンクはない。 生き物を育てる単元の順番が、地域の実状と合っていない場合があり、実際に学習を進める際には単元を入れ替えて実施する必要がある。 サイズがA4判で大きく、程よい余白があるため、どこに何が書いてあるかを見つけやすい。しかし、ページ数が多く紙の厚さが薄いため破れやすい面がある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

理 科

種目（教科）	理科（理科）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動を冒険に見立て、「理科モンスター」というキャラクターを用いて、児童が理科を楽しく意欲的に学べるように配慮されている。 ・ 単元の導入の「できるようになりたい」と単元末の「できるようになった」で、それらの資質・能力が身に付いたかを振り返るといった構成になっているため、単元で付けたい力が明確になり、身に付いたかどうかを確認しやすいように配慮されている。 ・ デジタルコンテンツが充実しており、学習の流れに応じて二次元コードから各種動画や省庁のサイト等の閲覧が可能である。また、単元末の復習問題は他の学年の導入としても使え、学習履歴や達成度、制限時間、出題問題の入れ替え、音声の有無を変更することができる。しかし、紙面にコンテンツの見出しがないため、開いてみないと内容が分からない面がある。 ・ 実験や観察器具の使い方が各単元や巻末にあるため、指導の際に活用しやすい反面、実験や観察中に教科書のどこに示されているのか調べる必要がある。 ・ A4判サイズよりコンパクトで、扱いやすい反面、実験や観察方法の説明の部分で、言葉による説明の位置と写真の位置が対応していないなど、写真が見づらく分かりにくい面がある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
	発行者の番号	17	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元末に「学習前と学習後で、自分の考えはどう変わりましたか。」という投げかけがあり、主体的な学習ができたかどうかを振り返るための配慮がされている。 ・ 裏表紙に「理科の安全の手引き」がまとめられており、教科書を開かなくても注意や危険なことが分かり、安全な実験や観察への配慮がされている。 ・ デジタルコンテンツは既習内容のまとめを見ることができ、他サイトへのリンクがある。また、植物・昆虫・気象・SDGsのWeb図鑑を見ることができる。しかし、単元に沿った内容についてはあまり充実しておらず、二次元コードに見出しがないため内容は判断しにくい。 ・ 単元末にSDGsとの関わりが記号で明記されているが小さく、巻末を見ないとどの項目にあたるのかよく分からない。 ・ A4判サイズよりコンパクトで、色使いやコントラスト、文字の大きさやフォントの選択によりとても見やすい反面、文字数が多く重量が重い。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	理科（理科）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツが非常に充実しており、単元の学習の中で効果的に使えるように配置されている。さらに、文字の大きさ、字幕表示等選択ができ、どの学年の内容も視聴が可能である。また、学習に必要なイラストがダウンロードでき、デジタルワークシートが使える単元もある。計画サポート動画や単元末の解説動画があり、個別やグループで学習を進めたり学習内容が身に付いたかを確認したりすることが期待でき、外部サイトやSDGsへのリンクが充実しているため、理科の学習と現在や世界的問題とのつながりが感じられるようになっている。 巻末の「WaCBT」ではICTを活用し映像を見ながら問題を解くことで、各学年で学んだことを確認することができる。単元や学年を通して常に教科書とICTを活用しながら学習を深め、理解できるように配慮されている。 1つの問題をまとめたら、そこから次の問題を見つけ、学習がサイクルしていくことが、巻頭で図示されている。「くらしとリンク」では学習した内容が生活の中でどのように活用してあるかを紹介してあるので、児童の興味・関心を広げるための配慮がされている。 単元末のふり返ろう「まとめノート」では、学習したことがらを手書き風文字で簡潔にまとめたノートの例が示してあるので、児童の見本として活用できるような配慮がされている。 A4判サイズよりコンパクトで、文字数が少ないため児童の自由な発想や教師の工夫がしやすい配慮がされている。しかし、授業においては補足やICT等での確認をしっかりとる必要がある。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	生活（生活）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻巻末の「かつどうべんりてちょう」では、「かんさつしよう」や「あんぜんにくらそう」など、学習や生活の場面がイラストで具体的に示されており、生活科で身に付ける習慣や技能、学び方が習得しやすいように配慮されている。下巻巻末の「かつどうべんりてちょう」では、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」など、気付きを関連付け、質的に高めるための学習活動をまとめた資料が掲載されている。 ・下巻の「学びをふかめる」では、言語活動を通して気付きを関連付けたり、視点を変えて捉え直したりするなど、気付きの質が高まる姿を具体化して示し、深い学びの過程を例示している。 ・上巻巻末の「ほんとうのおおきさ いきものずかん」では、児童の興味・関心を喚起するために、実物大の動植物のイラストが掲載されている。また、身近な生き物を掲載した「デジタルいきものずかん」がデジタルコンテンツで読み取って活用できるようになっている。 ・上巻巻頭の「がっこうせいかつすたあと」では、「きょうしつ」「ともだち」「がっこう」と関わる人と場所を徐々に広げることで、児童が安心して学習生活を送れるようになっている。 ・種、芽、つぼみ、花の写真が用紙の幅を変えて示されており、植物の育ちへの興味・関心を喚起し、成長や変化への気付きを自覚できるように配慮されている。 ・一人一人の興味・関心を刺激し、学習意欲を高め、個別最適な学びにつながるよう650以上のデジタルコンテンツが収録されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	4	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「かくしゅうどうぐばこ」において、豊富な資料が掲載されており、基本的な知識や技術の習得が図れるように配慮されている。 ・上下巻ともに「せいかつことば」が適宜示されており、自分の考えを豊かに表現したり新しい言葉の使い方に触れたりできるよう配慮されている。 ・デジタルコンテンツからスライドを活用して、個別学習にも全体学習にも対応した学習の展開ができるようになっている。また、作り方などのイラストでは分かりにくい部分は動画で見ることができ、個に応じた学習ができる。 ・下巻の「やってみよう生活科」では、児童の意識に沿った無理のない導入でSDGsを扱い、生活科の活動と結び付けることで、より身近な問題として捉えることができるようになっている。 ・上巻巻頭には、スタートカリキュラム対応ページを設け、一日の流れを知り、安心して学校生活を送ることができるよう配慮されている。幼児期に身に付けた力が発揮できることで自信が付き、小学校生活に対する期待が持てるよう工夫されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	生活（生活）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・目次で単元名と学習する時期が一目で分かるようになっている。 ・単元の必要な場面に「ものしりのうと」があり、必要な情報が図や写真で載っている他、デジタルコンテンツを読み込んで動画でも説明を見られるようになっている。 ・掲載されている写真には、児童が見たり触ったりにおいのかいんだり、五感を使って観察する様子が示されている。 ・下巻では同じ町の春・夏・秋・冬の季節によって異なる様子をイラストで描いており、四季による違いが比べやすくなっている。 ・巻末の「せいかつか まなびかたずかん」では、調べ方や記録の仕方、発表の方法などが示されており、児童が必要に応じて活動の参考にできるように配慮されている。 ・教科書で使用されているフォントがUD教科書体とそうではないフォントがあり、児童が学習したひらがな表記と異なる場合がある。（「はね」がない等） ・上巻の花の栽培の単元名が「わたしのあさがお」となっており、多様な花や種の写真が掲載されているものの、朝顔に限定されてしまっている。 ・上巻「生きもの大すき」「虫大すき」では写真が哺乳類と昆虫類に限定されてしまっている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・習慣や技能に関する資料が「学びのポケット」として巻末にまとめられている。生活科の学び方と他教科をつなげて、生活科で身に付けたい知識や技能がわかりやすく示されている。また、各単元の最初にどのポイントを参考にすればよいか、関連する番号を示すことによって、基本的な生活習慣や技能を身に付けることができるように配慮されている。 ・一人一台端末により、個別最適な学び、個別のものを共有する協働的な学びなど、ICTの活用の仕方を例示してある。 ・「？」マークを付して、活動のきっかけとなる問かけが示されており、児童の思いや願いを引き出すことができるように配慮されている。 ・単元の導入では自分の経験を振り返り、児童の興味・関心を喚起し、見通しをもって活動に取り組めるようにフローチャート式の「わくわくスイッチ」が設けられている。 ・「まなびリンク」に、学習に役立つ情報が掲載されており、デジタルコンテンツを読み取ることで見ることができる。 ・動植物に関わる活動の前後に、手洗いを促すマークを配し、衛生面への注意喚起がしてあるなど配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

生活

種目（教科）	生活（生活）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんなこともあるかもね」や「こんなのもいいかもよ」などにあるイラストと言葉からは、児童が自分らしく学ぶことの大切さを感じ取ることができるようになっており、主体的な学びにつながるよう配慮されている。 ・上下巻の「ひろがるせいかつじてん」には、数種類の花や植物の成長の様子が順を追ってまとめられてあり、類似点や相違点を知る手がかりとなっている。また、生き物の飼い方には挿絵と分かりやすい世話の仕方が掲載されており、個別学習の際には参考となるよう配慮されている。 ・下巻巻末「ひろがるせいかつじてん」には、目的に応じて表現方法を選ぶ活動が提示されており、多様な交流や表現方法を参考にすることができるようになっており、各単元に「学び方のヒント」コーナーなどが掲載されていて、身近な生活に関わる見方・考え方を働かせながら考えを深めることができるよう配慮されている。 ・上巻には他教科との関連が図れるような例が、下巻には中学年以降の学習に期待感を持ってイメージできるような活動例がそれぞれ示してある。 ・上巻巻末にある「〇〇のなかまたち」は厚紙になっており、季節ごとの校外学習の際にも持ち歩いて使用しやすいようになっている。 ・教科書で使用されているフォントがUD教科書体とそうではないフォントがあり、児童が学習したひらがな表記と異なる場合がある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻巻頭が「すたあとぶつく〜がっこうだいすき いちねんせい〜」で、幼児期に体験したことが写真で示されており、幼稚園・保育園からの移行がスムーズになるように配慮されている。また、下巻巻末「3年生へのステップブック」では、生活科で学んだことが3年生以上の学習につながることを示されており、児童が意欲をもって進級できるように配慮されている。 ・上巻「わたしのはなをそだてよう」・「生きもの大すき」では、多様な花と種の写真や哺乳類や昆虫、魚類などが一緒に掲載され多種多様な生きものとの触れ合いが想定でき、児童の意欲が喚起されるようになっている。 ・下巻「大きくそだてわたしの野さい」では、野菜の写真が掲載されていると同時に野菜の切り口の写真も掲載されており、多様な見方ができるようになっている。 ・上巻の途中から学習した漢字が使われており、児童の実態に即している。 ・下巻「わくわくどきどき2年生」では体験活動を「1年生をむかえよう」とし、進級した喜びとお兄さん・お姉さんになって誇らしい児童の気持ちに寄り添った活動内容となっている。 ・上下巻を通してあたたかい挿絵や言葉で、命の大切さを意識した構成になっている。 ・児童の豊かな感性や表現力を育むための「びっくりずかん」、基本的な知識・技能を示した「かくしゅうずかん」、児童の探求意欲に応える「デジタルたんけんブック」の3つの図鑑が用意されており、児童の深い学びを支えている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	音楽（音楽）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）								
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出								
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名が簡潔で、「何を学ぶのか」が分かりやすい。1つの題材で取り上げてある曲数が少なく、指導事項のポイントを絞しやすい。 ・「音楽のもと」に音楽を形づくっている要素が示されていることで、児童が考えたり工夫したりするヒントとなり、基礎的な知識・技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・方位磁針マーク「まなびナビ」には、学び方や具体的な活動が示されており取り組みやすい。 ・ほとんどの題材に二次元コードが付いており、端末を使った学習に対応している。特に、鑑賞教材のコンテンツが優れており、実際の演奏に合わせて色に変化する楽譜を見ることができる。 ・「Short Time Learning」には、英語の歌、算数、理科などの歌が掲載されており、他教科との関連が図られている。また、オプション「音楽ランド」を中心に、歌ったり演奏したりしたくなる魅力的な曲が掲載されている。 ・打楽器（低）→弦楽器・木管楽器（3年）→金管楽器・和楽器（4年）→オーケストラ（高）へと題材が系統的に配列されている。 ・3年以上の巻末に、「リコーダーの指づかい」「打楽器資料」などのページがあり、図や写真から奏法などが分かりやすく、練習等にも活用しやすくなっている。 ・全体的に、楽曲に合う美しい写真や挿絵が大きく掲載されており折込みのページもある。そのため、児童が歌詞の内容などをイメージしやすくなっている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>										
	特徴・特筆すべき事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発行者の番号</th> <th>27</th> <th>発行者の略称</th> <th>教 芸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特徴・特筆すべき事項</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材が、おおむね歌唱、器楽、鑑賞又は創作で構成されており、多様な活動を通してねらいに迫ることができる。 ・学習の過程で「何を学ぶのか、何ができるようになるのか」を「考える」「見つける」「演奏する」などのアイコンで示されており、ねらいを確認しながら学習に取り組むことができる。 ・全学年に共通したキャラクターが吹き出しでヒントを出すことで、児童が工夫したり考えたりする視点が明確になり、学習活動に取り組みやすくなっている。 ・ほぼ全ページに二次元コードが付いており、端末を使った学習に対応している。特に、創作教材のデジタルコンテンツが優れており、児童が試行錯誤しながら創作できるよう工夫されている。 ・「みんなで楽しく」のコーナーを中心に、英語の歌、国語や社会の学習と関連した歌が掲載されており、他教科との関連が図られている。 ・打楽器（低）→金管楽器（3年）→木管楽器（4年）→弦楽器（5年）→オーケストラ（高）へと題材が系統的に配列されており、各学年で詳しく学習できる構成となっている。 ・情報収集の仕方（4年）、著作権（6年）について知る場を設定してあり、生活や社会と音楽との関わりを考えることができるようになっている。 ・「歌声ルーム」や2年生以上の「がくふマスター」では、声の出し方や楽譜の読み方等を学習する場が設定され、音楽表現に必要な知識を習得できるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p> </td> </tr> </tbody> </table>			発行者の番号	27	発行者の略称	教 芸	特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材が、おおむね歌唱、器楽、鑑賞又は創作で構成されており、多様な活動を通してねらいに迫ることができる。 ・学習の過程で「何を学ぶのか、何ができるようになるのか」を「考える」「見つける」「演奏する」などのアイコンで示されており、ねらいを確認しながら学習に取り組むことができる。 ・全学年に共通したキャラクターが吹き出しでヒントを出すことで、児童が工夫したり考えたりする視点が明確になり、学習活動に取り組みやすくなっている。 ・ほぼ全ページに二次元コードが付いており、端末を使った学習に対応している。特に、創作教材のデジタルコンテンツが優れており、児童が試行錯誤しながら創作できるよう工夫されている。 ・「みんなで楽しく」のコーナーを中心に、英語の歌、国語や社会の学習と関連した歌が掲載されており、他教科との関連が図られている。 ・打楽器（低）→金管楽器（3年）→木管楽器（4年）→弦楽器（5年）→オーケストラ（高）へと題材が系統的に配列されており、各学年で詳しく学習できる構成となっている。 ・情報収集の仕方（4年）、著作権（6年）について知る場を設定してあり、生活や社会と音楽との関わりを考えることができるようになっている。 ・「歌声ルーム」や2年生以上の「がくふマスター」では、声の出し方や楽譜の読み方等を学習する場が設定され、音楽表現に必要な知識を習得できるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>	
発行者の番号		27	発行者の略称	教 芸							
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材が、おおむね歌唱、器楽、鑑賞又は創作で構成されており、多様な活動を通してねらいに迫ることができる。 ・学習の過程で「何を学ぶのか、何ができるようになるのか」を「考える」「見つける」「演奏する」などのアイコンで示されており、ねらいを確認しながら学習に取り組むことができる。 ・全学年に共通したキャラクターが吹き出しでヒントを出すことで、児童が工夫したり考えたりする視点が明確になり、学習活動に取り組みやすくなっている。 ・ほぼ全ページに二次元コードが付いており、端末を使った学習に対応している。特に、創作教材のデジタルコンテンツが優れており、児童が試行錯誤しながら創作できるよう工夫されている。 ・「みんなで楽しく」のコーナーを中心に、英語の歌、国語や社会の学習と関連した歌が掲載されており、他教科との関連が図られている。 ・打楽器（低）→金管楽器（3年）→木管楽器（4年）→弦楽器（5年）→オーケストラ（高）へと題材が系統的に配列されており、各学年で詳しく学習できる構成となっている。 ・情報収集の仕方（4年）、著作権（6年）について知る場を設定してあり、生活や社会と音楽との関わりを考えることができるようになっている。 ・「歌声ルーム」や2年生以上の「がくふマスター」では、声の出し方や楽譜の読み方等を学習する場が設定され、音楽表現に必要な知識を習得できるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>										

図画工作

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	図画工作（図画工作）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びは低学年では触覚を中心とした触り心地のよさや色の面白さ、光の面白さを感じる活動や行為。中学年では、可塑性の高い人工材料や自然材料を基にした活動や行為。高学年では場所のイメージを変えたり、空間を制御したりする活動や行為を行っている。しかし、天候に影響するので指導を行う点では難しさがある。 ・絵や立体に表すは描画素材としての絵具の使いかたの順序がよい。支持体に顔料を固着させるために手や液体粘土を使う方法、絵具を試すこと、絵具の粘性の体験、水分量、バチックなどのモダンテクニック、透明水彩的に使用するときと、不透明水彩的に使用するときの違いを学習することができる。表現方法も、モダンテクニックやリペーションなどデザイン要素が強い内容も高学年で増えている。 ・工作に表すは低学年、中学年では安全指導、平面から立体への移行などを丁寧に行っている為、高学年で行う内容は、少しレベルが高くスモールステップではあるが、少し飛躍している部分がある。 ・鑑賞は多くの芸術作品を取り上げ低学年の早いうちから、社会や世界にある良いものに触れることができる構成である。 ・巻末の「用具や材料を知ろう」では、用具や材料の基本的な使い方から技法までを分かりやすく示している。 ・二次元コードに導入の動画があり、ポイントを絞って指導するときの手引きになる。また、動くおもちゃの作り方動画やタブレットで見る作品集などが一つにまとまっていて使用しやすい。以上の理由により教科書としてかなり良い。 		
発行者の番号	116	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の始まりに適した授業開き題材を各学年に準備されている。 ・造形遊びは低学年では、材料や行為から活動を行い、中学年では、材料や行為から活動に各学年に1題材ずつ場所から考える活動が増え、高学年では、場所から考える活動を行うように、発達段階に応じた6年間を見通した構成になっている。 ・絵に表すは想像したことから、生活経験から、物語などから、材料や用具から、版に表す内容が各学年同じ数の題材で構成されている。制限のある内容から想像することや物語や詩、随筆など発達段階に応じて取り扱う内容が構成されている。 ・立体に表すは絵で表す内容と関連して1方向から見える絵画表現を8方向から見る立体に表し、立体表現にする内容が含まれている。 ・工作に表すは全学年通して「遊ぶもの・仕組みから」考える題材と「飾る・使うもの」を考える題材を中心に、中学年後期から「伝えるもの」が加わり、より相手意識を持つことができる題材が配置されている。また、中学年から社会やみんなとのつながりを意識した題材が構成されている。 ・鑑賞は低学年では、身の回りのもの、中学年から身の回りのものと著名な作品、芸術作品、高学年では、過去の芸術家が見つけた自然の中の美しさ、自然をどのように表現してきたかを考えるような構成になっている。また、伝統的な文様や受け継がれてきた形など、文化の継承も意識した内容である。 ・ほとんどの題材が鑑賞とセットになっていて、感じながら味わいながら制作を進めていくことを大切にしている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	家庭（家庭）	教科責任者 氏名 ■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称 東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の内容が大きくまとまっていることにより（5年生8単元〔開隆堂10単元〕、6年生7単元〔開隆堂10単元〕）、児童自らが実践したことを丁寧にふり返ったり、改善したり、計画を修正したりする時間が設定できる。 ・知識技能の習得において、「なぜそうするのか」が分かるように、考えたり実験したりしながら実感を伴った理解ができよう工夫してある。 ・大題材の導入時には、すべての児童に問題発見を促すことができるように、写真やイラストを用いて考えさせる場を設定している。様々な家庭環境の児童がいる中で、自分の家庭を想起することが難しい児童に配慮した提示の仕方である。 ・キャラクターが授業での疑問や問いかけを的確に話しており、児童だけでなく授業者にとっても授業でおさえるべきポイントが分かりやすくなっている。 ・デジタルコンテンツが充実していて、思考ツールも数多く掲載されている。一人一台端末を活用してXチャートやベン図などに意見を書いたり動かしたりしながら整理できるようになっている。協働的な学びの場で活用することで、さらに思考が深まることが期待できる。 ・巻末の「いつも確かめよう」では、実習技能の大切なポイントが分かりやすくまとめて掲載されており、必要な時に児童が自分の力で確かめられるようになっている。児童が実際に手を置いて練習することができるように実寸大の写真に掲載するなど、安心かつ安全に実習に取り組むことができるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>	
発行者の番号	9	発行者の略称 開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習技能は、スモールステップで積み重ね、基礎基本を着実に習得できる配慮がある。「ソーイングはじめの一步」の学習では、多くの児童が苦手とする玉結びの別の方法も紹介されており、個に応じた支援となっている。また、ボタンの穴の切り方などのコツもキャラクターが吹き出しで教えてくれるため、制作過程でのミスを防ぐ手立てとなっている。 ・すべての見開きページに二次元コードが掲載されていて、動画コンテンツが充実している。児童が自分の力で学習を進めていけるように工夫してある。 ・単元始めのページにはめあてがまとめて掲載されており、学習の見通しがもちやすくなっている。 ・「生活の課題と実せん」の取り組み方を5つのステップで示している。具体例が多く掲載されているため、それをヒントに自分の「生活の課題と実せん」につなげやすくなっている。 ・キャリア教育やアレルギー問題への配慮、防災の情報など、社会で問題視されている話題にも幅広く触れている。「豆知識」も全ページに記載されており、興味深く教科書を読み進めることができるよう工夫されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>	

保 健

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	保健（体育）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えを書ける書き込み欄が豊富で、ワークシートを作らなくてもよく、使いやすい。 ・二次元コードを読み取ることによって、色々な使い方ができて便利である。 ・二次元コードが大きく、児童用タブレット端末のスキャン機能で読み取りやすい。 ・表紙が色々な立場の人が描かれており、多様性を考えていくことにつながる。 ・各章の「ステップ4」（まとめる・生かす）では、学習内容をこれからの学習や生活に生かすための活動が設定されており、知識や技能が習得できるように配慮されている。 ・「ステップ2」（調べる・解決する）、「ステップ3」（深める・伝える）という学習の流れになっており、情報を集めたり学んだことをもとに筋道を立てて説明したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力が育成されるよう配慮されている。 ・各章の「ステップ1」（気づく・見つける）では、主体的に課題解決に向かうことができるように、自分の生活を振り返って課題に気付くことができるように活動が設定されている。 ・「資料」では、学習内容と関連した発展的な学習が取り上げられ、児童がさらに学びを深めたり広げたりすることができるように配慮されている。 ・「実習」や「スキル」のコーナーがあり、実際にロールプレイで体験することができる。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
	発行者の番号	4	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・文字が大きく見やすい。 ・章末の「学年のまとめ」では、学習した内容を振り返りながら確認できるように、チェック欄や記入欄を設け、知能や技能の習得が図られるように配慮されている。 ・折り込みカードがあり、困った時や、緊急時に役立てられる。 ・章のとびらには、健康や安全にかかわる課題に気付いたり見つけたりするための簡単な学習ゲームが設定されており、自然と学習課題に気付き、学習内容に興味・関心をもって学ぶことができるように配慮されている。 ・「話し合おう」では、自分の考えを発表したり友達の考えを聞いたりする学習が設定されており、思考力・判断力・表現力を育むことができるように配慮されている。 ・「いえで」「ちいきで」では、保健で学習したことを活用し、家庭や地域で取り組めることを考える活動が設定されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	保健（体育）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	50	発行者の略称	大修館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページの下に「ほけんクイズにトライ！」があって、学んだことをクイズで確認できる。 ・ 著名人の挿絵やインタビューコーナーがあり、児童が親しみやすい。 ・ 「課題をつかもう～まとめ」まで学習の流れが明確になっており、複式学級においても活用しやすい。 ・ 「きょうの課題」では、その時間の学習内容を明確にすることで、知識・技能の習得につながるように配慮されている。 ・ 資料が分かりやすく充実しており、資料に取り上げられている話題も、児童に関わる最近の問題が取り上げられ、児童の関心を引くことができる。 ・ 「やってみよう」のコーナーがあり、実際にロールプレイで体験することができる。 ・ 「解説」では、学習上重要な用語を取り上げて詳しく説明することで、知識・技能の習得が得られるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	207	発行者の略称	文教社
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章の終わりに「わたしの〇〇宣言」があり、学習したことをこれからの生活でどう生かしていくか考えられるようになっている。 ・ 1時間の学習が「Mission」（学習内容）とそれに基づいた複数の「Stage」（学習活動）で組み立てられており、段階的に知識・技能の習得が図られるように配慮されている。 ・ 表紙が3.4年と5.6年を合わせると1つの写真になるのが面白い。 ・ 時間ごとに学習のめあてとメニューが書いてあり、見通しがもてる。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

保 健

種目（教科）	保健（体育）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	208	発行者の略称	光文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙のデザインを有名なイラストレーターの方が担当しており、児童が興味を持ちやすい。 ・章の終わりにふり返りがついており、学んだことを確認できる。 ・表紙を開くと、「～保健を学ぶみなさんへ～」と題し、著名人からのメッセージが記載されており、興味をもてる。 ・「科学のとびら」を掲載することにより、根拠を明確にして考える良さに気付くことができるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	224	発行者の略称	学研
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ることによって、ワークシートをダウンロードしたり、端末でグラフなどを作成したりすることができる。 ・各時間の学習の流れが初めのページ書いてあり、学習の見通しがもてる。 ・「ほけんのはこ」では学習内容を広げたり深めたりすることに役立つ資料が掲載されており、発展的な学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・章末の「学習をふり返る・伝える・つなぐ」では、学習した内容を自分で確認したり、誰かに伝えたりする活動を設定することで、知識・技能の習得が図られるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	英語（外国語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元中、聞くこと、話すこと（やり取り）、読むこと、書くことの活動が、複数回設定されており、知識や技能を段階的に定着させることができるように配慮されている。 ・各単元末の「Sounds and Letters」では、自然な英語の発音を身に付けるために、2年間を通じて繰り返し学習できるように配慮されている。 ・各学年の「Check Your Steps」では、それまでの学習で身に付けた知識や技能を活用し、思考力・判断力・表現力等が高まるように、思考ツールを使って情報を整理しながら表現する活動が設定されている。 ・各単元末の「Enjoy Communication」では、モデル文や表現例、単語の例が示された目的や場面、状況を伴った言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に配慮されている。 ・単元の最初に身に付けさせたい資質・能力を示した「Our Goal」が示されており、各単元の学習に見通しをもつことができるように配慮されている。 ・別冊「My Picture Dictionary」にある「CAN-DOの樹」では、各学年における到達目標が明示されており、単元ごとに学習を振り返り、できたことを確認できるように配慮されている。 ・各単元末の「Over the Horizon」では、映像を見ながら質問に答えることで、世界の様々な文化や生活などに触れることができるように配慮されている。 ・2学年を通じて、SDGsの17の目標に関連した環境問題に関する題材が取り上げられている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「授業で使える20の表現」では、日々の授業でのやり取りを充実させる表現が示されている。 ・ゲームやクイズなどを行う「Let's Play」が、単元中に複数回設定されており、コミュニケーションに必要な英語を繰り返し練習し、慣れ親しむことができるように配慮されている。 ・英語を聞き、文を指で追いながら読む活動「Let's Listen and Read」が設定されており、読む力が育成できるよう配慮されている。 ・単元末の言語活動「Activity 3」では、これまでに身に付けたことを生かして取り組む言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・「Let's Check」では、ペーパーテストやパフォーマンス評価により、学習を振り返る活動が複数単元ごとに設定され、既習事項を活用して表現することができるように配慮されている。 ・各単元の冒頭に、単元で身に付けさせたい力を「GOAL」として示し、その達成に向けた「めあて」も併記することで、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・巻末に「CAN-DOチェック」が掲載され、単元の学習後に評価規準に対応した自己評価を行うことで、児童が自分の成長や課題を確かめることができるように配慮されている。 ・他教科等で学習した内容と関連した内容が題材として取り上げられ、該当箇所にはマークが付されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

英 語

種目（教科）	英語（外国語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートは、聞くこと、話すこと、読む、書くことの活動がスパイラルに学習できるように設定されている。また、目的意識をもって取り組めるよう、一つ一つの活動に目的が示されている。 ・複数箇所に設定された「ABC Fun Box」では、音声で十分に慣れ親しんだ文字や語句を読んだり書いたりすることで、文字の定着が図られるように配慮されている。 ・Unitのまとめの活動「JUMP」では、メモを作り、伝えたいことを考え、学習したことを確かめる活動が設定されている。 ・各Unitでは、単元の目標を達成するために「My Goal」を設定し、その目標に向かってLessonごとに振り返りながら学習を進めることができるように配慮されている。 ・「Hello, World!」では、日本の名所・名物の情報や、世界の祭りなど、世界に目を向ける題材を取り上げ、自国や外国の文化に対する関心を高めることができるように配慮されている。 ・学期ごとに大きなテーマが設定されていて、見通しをもってスモールステップで学習が進められるように配慮されている。 ・各Unitは、「HOP」「STEP」「JUMP」で構成されており、目標→見通し→振り返りのプロセスを大切にして学習することができるように配慮されている。 ・デジタル教科書では、マークがあり、必要に応じて動画を視聴したり、音声を聞いたりすることができるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「Let's Listen」「Activity」では、聞いたり話したりする活動を繰り返し行うことで、基本的な語句や表現に慣れ親しむことができるように配慮されている。 ・「The Alphabet」や「Sounds and Letters」では、日本語と英語の違いに気付かせる活動や、アルファベットの文字や音に慣れ親しむ活動が設定されており、段階的に知識や技能が習得できるように配慮されている。 ・単元末の「Final Activity」では、思考力・判断力・表現力等の育成に向け、場面を設定し、複数のモデルを示した複数の領域を統合した言語活動が設定されている。 ・単元の冒頭に「GOAL」が示され、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・「Lesson○をふりかえろう」では、資質・能力に基づく振り返りの観点が示されており、どの程度達成できたかを自己評価できるように配慮されている。 ・「名所・名物マップ」を掲載することで、日本や世界の伝統や文化への関心が高まるように配慮されている。 ・「Let's Look at the World」では、世界の学校の様子や手話、絶滅危惧種などをテーマにした内容を紹介し、世界とのつながりへの気付きを促すように配慮されている。 ・二次元コードにマークがあることにより、映像や音声を選択して活用できる。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	英語（外国語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各 Unit の「Let's try」「Plus One」では、会話を続ける力を付けることができるように配慮されている。 ・「Alphabet Time」は、語順・語の切れ目等、文の書き方に留意しながら文を書くことができるように配慮されている。 ・複数単元ごとに「You can do it!」として、既習を使ったスピーチなどが設定され、表現内容や方法の複数の例が示されている。 ・各学年の巻末に、「All About Me」が設定され、学習したことを活用して自分自身のことを書いて表現することができるように配慮されている。 ・巻頭の各学年で「できるようになること」では、領域ごとの到達目標が示され、自己評価できるようになっており、見通しをもったり振り返ったりすることができるように配慮されている。 ・各学年3回、「世界の友達」として、外国に住む同世代の友達を通して見た各国のことが題材に上げられ、世界の文化や生活を知ることができるよう配慮されている。 ・各学年に「災害と英語」の箇所があり、防災教育との関連が図られている。 ・各学年に、「ICTを活用しよう」が掲載され、情報教育との関連が図られている。 ・各 Unit が、「Hop!」「Step1・2」「Jump!」で構成され、学習内容をとらえ、練習し、Goal の活動をするという過程で学習することができるように配慮されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各 Step が聞くこと、話すことの学習を生かして、それらとつなげながら書くことの学習ができるように配慮されている。 ・「Let's Read and Write」では、アルファベットを読んだり書いたりする活動を段階的に設定することで、文字の定着を図ることができるように配慮されている。 ・各単元末のメモを元にスピーチする「Activity」は、話したことについてモデル文を参考に書くようになっており、思考力・判断力・表現力等の育成に配慮されている。 ・Unit の扉「Goal」に、単元のめあて、各 Step のめあてが示されており、見通しをもって学習できるように配慮されている。 ・巻末「会話を楽しむフレーズ集」は、話すこと（やり取り）に活用できるように配慮されている。 ・巻末「Can -Do List」では、Unit ごとに領域ごとの到達目標が示されており、年間を見通した目標をもつことができるように配慮されている。 ・外国の生活について聞き取る活動「Friends around the World」が、各単元に設定されている。 ・各学年の巻頭に、話すこと（発表・やり取り）について「コミュニケーションに大切なこと」が示され、国語科との関連が図られている。 ・複数単元の学習を生かして発展的に学習できる「Challenge」が設定されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

令和6年度使用小学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2年以上の巻頭「ちょっと話し合ってみよう！」では、学年に応じた場面の例文に対して、考えたことを話し合う際に、どのような視点で考えるとよいか、文言例が掲載されているので、実際に議論しながら協働的な学び方を身に付けることができるように配慮されている。 ・「問題を見つけて考えよう」を教材の後に、低学年では1つ、中・高学年では2つ取り入れ、巻頭の「どんな学びをするのかな」において、設定ページ数を示している。ねらいとする道徳的価値を追究できるように、キャラクターの吹き出しにより、課題を提示してある。 ・「演じて考えよう」「やってみて考えよう」が低学年では各1つずつ、中・高学年では「演じて考えてみよう」が1つずつ設定され、体験を通して考えられるように、役割演技や動作化によって考えを深める例が具体的に示されている。 ・中、高学年の教材末の「考えよう」に問題意識を喚起し、主体的な学びとなるよう、キャラクターによる学習への投げかけが掲載されている。 ・教材とコラム「つながる・広がる」を組み合わせ、現代的な課題に取り組む5つのユニットのいじめ（人間関係）、いのち（生命の尊厳）、じぶん（自己肯定感）、情報モラル、安心・安全（防災）に関する教材がすべての学年に掲載されている。 ・4年「ふれあいの森」では、社会科や理科と、5年「ヒヤリ・ハット」では体育科というように、各学年に他教科における道徳教育を深化・統合することを意識した教材が掲載されている。 ・5つのユニットであるいじめ（人間関係）、いのち（生命の尊厳）、じぶん（自己肯定感）、情報モラル、安心・安全（防災）が全ての学年に配列され、2～6年は同時期に配列されているので、複式学級でも扱いやすいように配慮されている。 ・教材文の冒頭には二次元コードが掲載され、関連するウェブサイトへ遷移するようになっている。低学年には「コンピュータで学びをひろげよう」、高学年には「デジタルコンテンツで学びを広げよう」が設けられ、デジタルコンテンツを活用して学びが広げられるように解説が設けられている。 <p>以上の理由から、教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳ではこんな学び方をするよ」では、グループやクラスで話し合ったり、役割演技をしたり、書いたりする等、言語活動が適切に行われるように、学び方のポイントが記載されている。 ・問題を解決する力を養う教材には、「解決」のマークが目次に付けられ、教材文の後は「問題を解決しよう」が設けられ、友達と対話しながら解決方法を見出すことができるように配慮されている。 ・体験をして考えを深めるとよい教材には目次には「たいけん」マークが付けられ、教材文には「やってみよう」が設けられ、動作化や役割演技の具体例が示されているので、体験的に道徳価値を深めることができるようになっている。 ・教材文冒頭では、どのような学習をするのか見通しをもたせる具体的問いかけをキャラクターの吹き出しにより書かれている。また、関連する内容項目の教材名が書かれ、児童はつなげて考えることができる。 ・SDGsとの関連を意識した教材が多数掲載され、巻末の「学習内容一覧」では、その関連が分かるように記載されている。また、二次元コード「SDGsとは」からは、SDGsの各視点について動画や解説を見て学ぶことができるようになっている。 ・巻末の「学習内容一覧」には、現代的な課題との関係や他教科・領域との関係が記載され、関連する学習が行いやすくなっている。 ・「いじめをなくす」「情報と向き合う」等、各学年重点的に扱いたい内容には「特に大切にすテーマ」のマークが付けられ、ユニットを組んで指導できるように配慮されている。 ・各教材文冒頭の二次元コードからは、「教材の解説」を見ることができ、興味関心を抱いて教材文を読み進めることができるように配慮されている。 <p>以上の理由から教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上の第1教材「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」や、1学期途中の「心を通わそう」、2学期冒頭に位置している『考える』（2年は「しつもん」）準備たいそう」は、1年間の発達の段階を意識し、話し合いが充実するよう配慮されている。 ・「考えるヒント」の「演じて考えよう」では、演じている人だけではなく、見ている人がどのように活動に参加すればよいのかも具体的に例示されていて、役割演技を通して考えを深められるように配慮されている。 ・3年生以上巻末には「学びの工具箱」があり、「考えるヒント」において、それらの思考ツールの具体的な活用例が提示され、自らの考えを広げたり整理したりできるように配慮されている。 ・各教材文の文頭では、キャラクターによる吹き出しで、児童の日常と教材文をつなぐ投げかけが例示されているので、問題意識をもって主体的に教材文に向き合うことができるようになってきている。 ・現代的な課題である「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマについては、複数教材とコラムでユニットを構成してあり、考えを深めることができるようになってきている。 ・SDGsとの関わりのある教材にはマークが付けられ、多面的・多角的な視点から考えを深めることができるようになってきている。 ・教材末「つなげよう」では、他教科や特別活動、行事等との関連付けがなされ、マークによって分かりやすくなっている。また、関連する図書の紹介があり、発展的に学習に取り組めるようになってきている。 ・全巻にわたって、「生命の尊さ」に特に力点が置かれ、「生命の尊さ」をテーマにした教材が学期に1回、年間3回位置付けられ、継続的に自らを大切にすることを考えられるようになってきている。 ・二次元コードで読み込むと、動画、朗読、参考写真等が用意され、授業の導入や展開場面で活用することができる。 <p>以上の理由により教科書として、かなり良い。</p>		
発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の巻頭「道徳の学び方」では、学習方法を「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」と示し、特に「考える・深める」では、言語活動の「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう」を、写真と吹き出しで提示し、協働的な学びについて児童がイメージしやすいように示している。 ・別冊「道徳ノート」が用意されており、紙とデジタルと選択できるようになっていて、自由記述欄では絵、図、文などで自分の考えを整理できるように配慮されている。 ・体験的な学習を取り入れると効果的な教材には、「ぐっと深める」が挿入され、具体的な活動例や留意点が示されている。役割演技や動作化の写真が数多く提示され、実際の授業のイメージを抱きやすいように配慮されている。 ・各教材の冒頭には、教材の内容を把握しやすいように、登場人物と教材に興味を湧くコメントが書かれ、考え議論する時間を確保しやすいようにしている。さらに、教材に入り込むきっかけとなる問いが書かれ、主体的に考える手立てが工夫されている。 ・別冊「道徳ノート」の巻頭「道徳ノートの使い方」には、友達の考えを記載する自由記述欄や、毎時間の自己評価欄、学期ごとに振り返るページが設けられ、主体的な学びとなるように配慮されている。 ・「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」など、様々な教材が扱われている。また、全学年、全教材に教科書デジタルコンテンツが用意されており、教材に関連した画像や動画を閲覧し、興味関心を高めながら学習することができる。 ・巻末には「見つけた！ここにも道徳」が全学年に設定され、駅や山での看板やユニバーサルデザインの使われ方などが掲載され、身近な生活の様々な物事と、道徳科の授業で学んだこととのつながりを考えることができるように考慮されている。 ・教材の後にコラムとして「心のベンチ」が各学年に設定され、本教材とは異なった角度から他の教科とつなげて考える素材が提示されており、児童の見方・考え方を広げることができるように配慮されている。 ・「いじめ防止」が最も重要なテーマとして位置づけられ、いじめ防止に関わる教材はまとめてユニットとして年間3回配列され、人との関わりを繰り返し重点的に取り扱い、心のベンチと組み合わせ、深い学びに到達できるよう配慮されている。 ・巻頭のオリエンテーションのデジタルコンテンツから「議論する道徳」の具体例を示した動画を視聴できる。また、教材文のデジタルコンテンツからは、朗読音声やアニメーション、動画、ワークシート、思考ツールが入った工具箱等が活用できるようになっている。 <p>以上の理由により教科書として、極めてふさわしい。</p>		

道 徳

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）								
発行者の番号	208	発行者の略称	光文								
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「話し合ってみよう」では、対話で使える「言葉のカード（対話ツール）」を示し、それを使う場面や使うよさを併せて示し、対話を通して道徳的価値が深められるように配慮されている。 ・「いろいろなやり方で考えよう！」では、思考ツールの例が具体的に示され、見方・考え方を深めたり、ものごとを多面的・多角的に考えたりしながら、問題解決的な学習となるように配慮されている。 ・「みんなでやってみよう」では、人間関係を豊かにするコラムが掲載され、教材とつなげて体験的な学習ができるようにしている。 ・教材文の冒頭に、この教材を通して考えたい問いが書かれているので、児童は問題意識を明確にして学習を進めることができるように配慮されている。 ・巻末の「学びの足あと」には、「心の矢印」や「ひと言」を記入する箇所があり、毎時間の道徳科の学習での変容や振り返りが短時間で行うことができるようになっている。また、それにより、成長を実感できるとともに、新たな課題や目標を見つけながら、学習に取り組むことができるようになっている。 ・全学年にコラム「みんなでつくるわたしたちの未来」が設けられ、SDGsの17の目標と関連付けて教材を取り上げ、さまざまな課題に対して子供たちが自分ごととして考えられるように配慮してある。 ・各教材末にある「ひろげよう」では、道徳科で学んだことを、他教科等の学習や学校生活、家庭生活、地域社会へ広げていくためのポイントが提示されている。 ・全学年にコラム「へこんでも立ち直る」が設けられ、低学年では、自分の中にある元気な心について、中学年では、自分の強みや心の力について、高学年では、立ち直りの過程について考えるというように、系統立てて配列されている。 ・授業の導入や展開時にデジタルコンテンツを活用すると効果的な教材には、二次元コードが付加され、インタビュー動画、教材に関連する動画や写真などが活用できるようになっている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>										
	特徴・特筆すべき事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発行者の番号</th> <th>224</th> <th>発行者の略称</th> <th>学研</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特徴・特筆すべき事項</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳の学習が始まるよ」では、低・中・高学年に応じて「話し合おう」「やってみよう」「書いてみよう」という道徳の学び方を示している。 ・「心のパスポート」に適宜、役割演技を通して、感じたことや考えたことを話し合う活動が設定され、体験活動を通して道徳的価値の理解を深めることができるように配慮されている。 ・「深めよう」では、「活動」のコーナーが設定され、書いたことをもとに、グループで考えを深める場面が設定されている。 ・巻末には「つなげよう、広げよう」が設けられ、1年間の学習を振り返り、自分自身の成長を見つめることができるようになっている。 ・巻頭の「つながる私・広がる私」では、現代的な課題・SDGsに意識を向け、自分事として課題に向き合うためにマークを作成して掲載し、関連する教材文にもマークを付けて意識付けをしている。 ・「心のパスポート」では、「街で見かける思いやりのマーク」や日本画の作品等、教材についての追加情報や視野を広めるための情報が適宜示され、各教科等の学習との関連が図られている。 ・安全、食育、伝統文化、スポーツ等の現代的な課題にはマークが教材に付けられており、様々なテーマとつなげて考えることができるように配慮されている。 ・最重点テーマとしている「いのち」の教育と、誰一人取り残さないSDGsの考えにつながる「多様性」と、生き方・未来志向につながる「キャリア教育」の3つについては、全学年を通してユニットとして系統的に配列されている。 ・情報に関する教材の後に「私たちと情報」を掲載し、各学年で情報の扱い方や情報モラルに関する考えを深め、デジタル・シチズンシップが身につくよう配慮している。 ・二次元コードにアクセスすると、写真や音が聞けるようになっている教材がある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p> </td> </tr> </tbody> </table>			発行者の番号	224	発行者の略称	学研	特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳の学習が始まるよ」では、低・中・高学年に応じて「話し合おう」「やってみよう」「書いてみよう」という道徳の学び方を示している。 ・「心のパスポート」に適宜、役割演技を通して、感じたことや考えたことを話し合う活動が設定され、体験活動を通して道徳的価値の理解を深めることができるように配慮されている。 ・「深めよう」では、「活動」のコーナーが設定され、書いたことをもとに、グループで考えを深める場面が設定されている。 ・巻末には「つなげよう、広げよう」が設けられ、1年間の学習を振り返り、自分自身の成長を見つめることができるようになっている。 ・巻頭の「つながる私・広がる私」では、現代的な課題・SDGsに意識を向け、自分事として課題に向き合うためにマークを作成して掲載し、関連する教材文にもマークを付けて意識付けをしている。 ・「心のパスポート」では、「街で見かける思いやりのマーク」や日本画の作品等、教材についての追加情報や視野を広めるための情報が適宜示され、各教科等の学習との関連が図られている。 ・安全、食育、伝統文化、スポーツ等の現代的な課題にはマークが教材に付けられており、様々なテーマとつなげて考えることができるように配慮されている。 ・最重点テーマとしている「いのち」の教育と、誰一人取り残さないSDGsの考えにつながる「多様性」と、生き方・未来志向につながる「キャリア教育」の3つについては、全学年を通してユニットとして系統的に配列されている。 ・情報に関する教材の後に「私たちと情報」を掲載し、各学年で情報の扱い方や情報モラルに関する考えを深め、デジタル・シチズンシップが身につくよう配慮している。 ・二次元コードにアクセスすると、写真や音が聞けるようになっている教材がある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	
発行者の番号		224	発行者の略称	学研							
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳の学習が始まるよ」では、低・中・高学年に応じて「話し合おう」「やってみよう」「書いてみよう」という道徳の学び方を示している。 ・「心のパスポート」に適宜、役割演技を通して、感じたことや考えたことを話し合う活動が設定され、体験活動を通して道徳的価値の理解を深めることができるように配慮されている。 ・「深めよう」では、「活動」のコーナーが設定され、書いたことをもとに、グループで考えを深める場面が設定されている。 ・巻末には「つなげよう、広げよう」が設けられ、1年間の学習を振り返り、自分自身の成長を見つめることができるようになっている。 ・巻頭の「つながる私・広がる私」では、現代的な課題・SDGsに意識を向け、自分事として課題に向き合うためにマークを作成して掲載し、関連する教材文にもマークを付けて意識付けをしている。 ・「心のパスポート」では、「街で見かける思いやりのマーク」や日本画の作品等、教材についての追加情報や視野を広めるための情報が適宜示され、各教科等の学習との関連が図られている。 ・安全、食育、伝統文化、スポーツ等の現代的な課題にはマークが教材に付けられており、様々なテーマとつなげて考えることができるように配慮されている。 ・最重点テーマとしている「いのち」の教育と、誰一人取り残さないSDGsの考えにつながる「多様性」と、生き方・未来志向につながる「キャリア教育」の3つについては、全学年を通してユニットとして系統的に配列されている。 ・情報に関する教材の後に「私たちと情報」を掲載し、各学年で情報の扱い方や情報モラルに関する考えを深め、デジタル・シチズンシップが身につくよう配慮している。 ・二次元コードにアクセスすると、写真や音が聞けるようになっている教材がある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>										